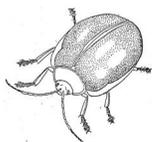


たんぽう



兵庫県産テツイロヒメカミキリの追加記録

池田大

テツイロヒメカミキリ *Ceresium sinicum* White, 1855 はカミキリムシ科ヒメカミキリ属に属する南方系のカミキリムシである。分布は本州（関東以西）、九州、平戸島、甕島、黒島の他、国外では台湾、中国、海南島、タイで知られている（日本鞘翅目学会, 1984）。また兵庫県内における本種の記録は宝塚市安倉北4安倉上池、伊丹市北本町、西宮市一里山町、明石市大久保町西島の4例のみである（三木, 2015）。今回、筆者は記録がない2産地において本種を採集しているのので、追加記録として報告する。



1ex., 26. IV. 2009, 神戸市西区学園東町, 筆者採集保管
1ex., 28. VI. 2009, 伊丹市中村井ノ下 猪名川河川敷左岸, 同上(写真)

神戸市で採集された個体は、筆者が公園内でコデマリ *Spiraea cantoniensis* Lour. の花に訪花した昆虫類をビーティングで採集している際、得られたものである。コデマリは公園に植樹されたものであり、道沿いの片側約100m区間に植えられている。また、この公園は二次林の山と住宅地に面した場所に作られたもので、公園のある山の背後には県指定天然記念物である「太山寺の原生林」が広がっている。

一方、伊丹市で採集された個体は、猪名川河川敷に生えたネズミモチ *Ligustrum japonicum* Thunb. の花を

スィーピングした際に得られたものである。大阪国際空港（伊丹空港）と道路を挟んで隣接した地点で採集された。この地域は、シロツメクサ *Trifolium repens* L. をホストにするシルビアシジミ *Zizina otis* (Fabricius, 1787) の産地として有名な場所である。

三木 (2015) によると、本種は訪花性が知られており、ネズミモチ、アカメガシワ *Mallotus japonicum* (Thumb. Ex L. f.), ボダイジュ *Tilia miqueliana* Maxim 等の花をスィーピングすると採集できるらしい。今回記録する個体は、いずれも花から得られていることから、花に集まっていた可能性が高い。しかし、いずれの産地もあまり数を得られていないことから、やはり個体数は多くないようである。

末筆ながら本発表を勧めていただいた三木進氏に御礼申し上げる。

○参考文献

- 日本鞘翅目学会編, 1984. 日本産カミキリ大図鑑, 265pp. 講談社, 東京.
牧野富太郎, 2000. 新訂 牧野新日本植物図鑑. 北隆館, 東京.
三木進, 2015. 兵庫県産テツイロヒメカミキリを追う—初記録から明石市での採集まで—. きべりはむし, 37 (2) : 24-27.
白水隆, 2006. 日本産蝶類標準図鑑, 138pp. 学習研究社, 東京.

(Hiroshi IKEDA 愛媛大学農学部)